

調査項目 ②「都市公園の価値を評価する新たな指標・仕組み」に関する調査研究

調査年次 平成30年度（10次調査）

目的

新たな時代の緑とオープンスペースによる都市のリノベーションを推進していくためには、公園緑地においてこれまでの1人あたりの公園面積、緑被率といった指標だけでなく、公園の価値や緑の役割を客観的に表す指標を導入し、公園緑地の整備・再整備の明確な効果を示すことで事業費を獲得していくことが必要である。

本調査は、健康や子育てなど、他の政策・部局との連携策の整理により、都市公園の価値の評価や緑の役割を客観的に表す新たな指標を検討するとともに、実施する事業の指標に対する効果の発現を計測するための考え方を調査することを目的とする。

概要

以下の内容について調査を行った。

- ①都市公園の価値を評価する現状の指標・仕組みの把握
- ②他の政策における指標の把握
- ③新たな指標の検討
- ④新たな指標の導入に向けたモデル事業案の検討
- ⑤新たな指標・仕組みと事業効果に関する留意事項に係る考察

結果

- ①各都市の緑の基本計画等に使用している評価指標を抽出し、その計測方法や目標設定などの事例や既存文献を中心に、海外の緑やオープンスペースの価値の考え方などを収集し、評価指標に関わる事例を把握した。
- ②大都市各都市の総合戦略や総合計画などにおける成果指標を収集し、その測定方法や目標値等を分野別に整理し、成果指標と都市公園の持つ機能にかかわる部分を分析し、他部局との共通目標となるような評価指標を探り、他部局連携による施策展開の可能性について検討した。
- ③収集整理した各指標に対して、都市公園の価値や緑の役割を客観的に表す指標としての適合性を、様々な視点から比較検討し、より効果的なものを新たな指標として提案した。
- ④公園緑地の整備・再整備により獲得を目指す整備効果について、当該公園の将来のあるべき姿を示した上で、整備効果を数量化する適切な指標を整理しその指標の数値を向上させる整備・再整備のあり方について検討した。

まとめ

新たな指標については、過去何度も調査を行ってきたが、今回の調査では、総合的な公園緑地の価値を示す「普遍的指標」と政策の優先度を高めPRにも有効なわかりやすい指標を示す「オンデマンド指標」などが考えられることが確認された。

調査結果の反映等

キーワード

緑の基本計画、総合戦略、総合計画、健康・福祉、医療費削減

事例公園等